

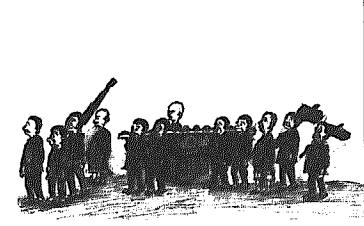
新聞からたどる黒埼の歴史(六)

明治十六年に大野校新校舎が建設されると対抗意識強い木場村でも学校建設運動が起こった。

むかし、けんかがよくあった
明治十四年十月七日記事
耳に噛みつく人力車夫と魚屋のけんか

ワンワンと言わなかつた相だがナニ一屁乱迷位で中蒲原郡白根町の魚屋某が、大野町の人力挽き熊五郎外二人を敵手に同所大橋際にて喧嘩を始めた。衆寡敵せぬ処より窮鼠却つて猫を噛むの勢にて、某は突然熊五郎の耳へ食ひ付きし故、熊五郎は痛みに堪へ兼ね逃げんと争う内、到頭耳を喰切りたる騒ぎへ巡査が来られ共々抱引の上治療されしに他の車夫二人も諸所へ噛み付かれしよしなるが、シテ見ると魚屋の前世は

ワン公(白犬)でもあった
明治十四年
というところが約百数十年前、人力車夫と魚屋のけんかが面白く表現された当時



金巻聞念寺の御年始廻り

くも長連の網代駕籠に打乗りし余人の供廻りに、切立の看板を着飾らせ、挾箱に打物を持たせつ、仰々しくものものしく触れまわる様は、さながら旧幕時代の年始廻りもか頃から元和の初期(一六二〇年頃)ではないかと思われる。明治十五年二月九日、大野聞念寺道場焼ける。去る方は午前十一時三十分ごろ西蒲原郡大野町の道場寺(同郡金巻村聞念寺の寺中)より出火、他へ延焼なく一寺丸焼けにて鎮火せし。大野聞念寺道場は、古くより金巻聞念寺の支坊として大



大野小学校初代校舎(写真は35年卒業写真。中央は山際村長)

野二ノ町にあり説教所ともいわれた。また明治五年学制発布と共に大野校しんしん舎として開校され、また一説に一時期金巻村役場として使用されたともいわれ、大勢の人の集まる場所のなかつた当時、宗派を問はず町の人たちの暮りに密着した建物だった。筆者は小学生の昭和十二三年ころ、聞念寺住職本多浄應師によって同寺の道場で開かれた日曜学校に学んだが、その建物は火災後建てられたもので、日曜学校では浄土真宗のお経や童話、簡単な精神修養の話等教えられた。焼失した道場の奉加と小学校奉加と小学校明治十五年二月二十六日記事

西蒲原郡大野町は至って佛法を信仰するお利口連多くして去る六日に焼失せし道場寺再建の奉加とか唱ひ、町物代や重立ち等その外有志者相集まり晴雨の暇なく日々市中を立ち廻り、戸毎にて寄附を乞い歩くゆえ、あがり沢山ありて最早不日に新立の式を執行さる。これに反して大野小学校は創立以来借館(民家を借りる)にてまだ建築の議もなく、教場いと

明治十六年に大野校新校舎が建設されると、何事による大野との対抗意識のあつた木場村では早速大きな学校を建てようという運動が起こった。木場の政治家山際七司は新堀にあつた病院が官庁の私下げの古材を持つてきて明治十七年、五十坪余の学校を建てた。この時校舎建築に尽力をした人は、山際七司(真会議員)のほか高田謙三(学務委員)、山際重次郎(戸長)、小林権藏、山際要太郎、渡辺平次郎、永井熊藏、松沢孫七(以下惣代)杉山善六の諸氏だった。空色の洒落た二階建て窓も上

下開閉式だった。学校の敷地問題で、村の上と下とが争つて容易に解決しなかつたが、山際七司が「君達の言い分はわかるが、今の木場の実情から見れば、家の上手の火葬場がいなくなると、そこに校舎を建てると一番得策だ。そうすれば敷地の心配もいらぬし、金も割合から少ない。余りかれこれ言つて騒いでくれるな」とこの鶴の一声で解決したと言われている。当時の山際の権勢もさることながら、七司の遠見は一等地を抜いていた。(木場公民館、木場の郷土誌より)

「明るく家庭びへり」作文の入賞発表と文集の発行

黒埼町青少年育成町民会議(会長・鈴木昭)では「明るい家庭づくり」運動推進の一環として、過去永年にわたつて行つて来た「標語募集」や「かるた作り」に引き続いて、平成四年度から作文募集を行なっていました。

初めての試みでしたが、応募作品は、小学生八四四点、中学生一九九点、高校生及び一般四四四点、合計一〇七四点ありました。審査は小中高各校から一名と、町民会議役員を合わせて一八名によって行われた結果、左記の通り最優秀賞三名、優秀賞五名、奨励賞八名が選ばれました。

〈小学校低学年の部〉
最優秀賞 佐藤幸奈(山田小二年)「まことがいはいをした」
優秀賞 大矢和成(板井小二)

〈小学校高学年の部〉
最優秀賞 高沢麻実(山田小六年)「家族そろつてのひととき」
優秀賞 萩原愛美(大野小六年)「私の家族」
奨励賞 近藤美樹子(木場小五年)「みんなが健康でいられますように」
〃 小柳宏志(山田小六)

〈中学生の部〉
優秀賞 大野綾子「私の家庭生活」
奨励賞 斎藤美佐「私の歴史と母」
〃 遠藤美樹子「姉の存在」(以上、黒埼中)

〈高校生・一般の部〉
最優秀賞 中野まゆみ(緒立)「わが家のクッキング」
奨励賞 佐藤三喜子(二ノ丁)「日々の生活の中において」

町民会議では、右の入賞作品に佳作の六三三点を合わせて七九四点の作品による文集を発行することにしました。文集は三月中旬に完成し、関係者に配布されますが、ご希望の方には実費(一冊百円)で、教育委員会窓口でも販売することにしています。



黒鳥小学校児童会(相田美春さん)



中山一義さん(黒埼高校3年)

おめでとう若葉賞
第8回青少年健全育成大会(2月20日、農村環境改善センター)で若葉賞の表彰が行われました。この若葉賞は青少年の日ごろのあまり目立たない善行や努力行為を発掘、顕彰するものです。今年はこの一団、一人が受賞しました。

※各学期に一度、児童会が中心となり全校で中古衣料の回収。また学芸会の時に地域にも呼びかけ回収し、集まったものを新堀もぐら会の訓練生に贈っている。

※三年間相撲部に所属し、技能の向上のみならず自身の練習に励み、各種大会に出場好成绩を取った。三年次、高体連春季相撲大会重量級一位高体連総体個人戦四位など。

知ってトクする税のコーナー

《総合譲渡所得》
借家権やゴルフ会員権など、土地や建物以外の資産の譲渡による所得は総合課税の譲渡所得として、その他の所得と合計して税額を計算することになります。

この譲渡所得には、譲渡が資産取得後5年を越えて行われる長期譲渡所得と、5年以内の短期譲渡所得とがあります。

《特別控除額》
総合譲渡所得の特別控除額は、最高50万円を限度として控除され、短期譲渡所得と長期譲渡所得がある場合は、まず短期譲渡所得の金額から控除します。

《譲渡所得の金額》
収入金額から取得費と譲渡費用を差し引き、特別控除額を差し引いた残りが所得金額となります。

総合所得金額を計算する場合の長期譲渡所得については、その2分の1に相当する金額が他の所得と合計されます。

ご不明な点がございましたら最寄りの税務相談室又は税務署へお尋ねください。

黒埼荘の休みが変わります。

4月より毎週月曜日のみ休みとなります。月曜日以外は開館します。

寝具乾燥サービスを始めました。

65歳以上の老人や重度身体障害者で寝たきりなどで寝具の乾燥ができない方。

タクシー券を交付します。

重度身体障害者の方などにタクシー券を交付します。詳しくは住民福祉課窓口まで。

